



(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

桜の花も今を盛りと咲き競っております。いつもお世話になっております。
今回は、**切削工具**とはどんなモノなのか、切削工具の歴史をたどってみると人類が最初に回転させ道具として考え出したのは『ろくろ』ではないかと言われています。回転させながら外周を削ったり、内側に穴を明けたり広げたりして、陶器や道具を作ることが始まりで、そこから工作機械や今回の切削工具が生まれました。

その主力となるドリル・リーマー・エンドミルの用途と種類をご紹介します。(業務部 功刀)

<編集者>
塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~ 切削工具について ~

切削工具の種類として①ドリル ②リーマー ③エンドミル 等が良く知られています。

①ドリル

穴明け工具で、丸棒状の鋼材に螺旋状の切り刃と逃げ溝をつけ、これを回転させ穴を明ける工具です。ちなみに、学習におけるドリルの意味は、学業において知識・技能を習得するため、反復練習し深く掘り下げる「明ける」との意味で『ドリル』とも言われています。

②リーマー

ドリルなどで空けた穴を広げたり、形状を整える工具であり、手廻し(ハンドリーマー)・動力(マシンリーマー)などが主流で、刃の形状は直線状とドリルの様な螺旋状があります。

外見の形状も他にテーパピンリーマー・チャッキングリーマー・ブローリーマー・スキルリーマーと多種多様あります。

③エンドミル

フライス盤(ミーリングマシーン)に使う工具をmill(ミル)と言い、end(エンド)にも刃があるので、エンドミルと言います。外周面及び端面も削り、段削り・溝削り・曲面削り、時には穴明け・穴ぐりさえもする切削工具のマルチ的な存在です。

以上の切削工具が無ければ、日本のものづくりも此処まで世界に誇れる様になっていなかっただけかもしれません。他にも、『チップ(インサート)』、『ホルソー』、『鋸刃(バンドソー)』、『バイト』等数えきれないほどあります。良いものを使い、高品質でより良い製品を常に提供できるよう頑張っ参ります。



★社長のワンポイント★ 2011・3・11の災害から丸6年経過した。あの瞬間何をしていただろうと記憶をたどると、当社切断倉庫現場操業中の14時46分18.1秒。休憩前の数分間少し肌寒かったような気が、小規模な揺れから大きな揺れへと変わり今までに感じたことが無いような長い揺れ。1978年宮城県沖地震：昭和53年6月12日私が小学校時代にあったこの地震の記憶以上に長く、そして余震も連続して恐怖を感じました。瞬間、事務所から離れるという動作。そして現場作業者の避難そして落下物の心配……。停止中の車は大きく揺れ、高架線の電線は今までに無いぐらい揺れ、地面はくねるような感じ。ただ慌てて全員の安全確認。営業活動している営業部隊の安全確認……。S携帯が繋がらない状態……。自身が使用していたD携帯はつながり、各自に連絡したのが現場でも慌てていたのだから繋がらない状態が続いた。特に郡内エリアは一時間以上連絡が着かない状態。山梨県のインフラの整備が行き届いていない時期であったと……。全員の無事確認し今度は各自の家族の心配。双方向の連絡がその当時は携帯と固定電話と会話少々メールぐらい。今の様に、SNSが頻繁に無かったときこの確認もかなりの時間がかかったと記憶しております。地震が起きて直ぐにNHKのチャンネル着け、時間の経過で津波の状況をヘリコプターの中継で追いかけている映像、また固定カメラでの港に押し寄せる大津波の映像、今でもしっかり脳裏に刻まれている、石巻の街が製紙工場の積み置き材木が津波と一緒に流され、家と家の間に挟まり車止めその間を海水が入り込み、あっという間に全ての物そして「人」を飲み込んでいった映像。風化させないために私は、石巻の先輩の小野寺豊様そして、石巻日日新聞の近江弘一専務、武内宏之常務、木暮宏行様取締役の皆さんと今まで情報共有してまいりました。是非風化させないために……。あの時を忘れない。3・11東日本大震災で避難所に貼り出された「6枚の壁新聞」裏面に掲載してあります。

★国中エリア 塚原★ 3月の国中は、依然として半導体の動きが良く目立っている状況でその他の業種が良いのか悪いのか判断が難しい状況です。半導体の稼働は落ち込む事無くまだまだ忙しくなっている様子で、年内中はこのままの勢いで進みそうです。車関係では新型車の発表が続いていますが、試作などでの新しい部品などは動きが悪いとの話を聞いています。トラック関係では、調整での浮き沈みは多少あるものの高稼働を維持しています。切削機械メーカーでは半導体の動きがそのまま設備投資へと動いているようで、各メーカー共売込みを強化しているようです。3月半ばでは弊社の研修旅行にて平日休業を頂きありがとうございました。今後も皆様に最新の情報を発信させて頂けるよう頑張っ参ります。

★郡内エリア 望月★ 3月に入り、2月と変わらない状況が続いております。厳しい状況です。2月は数物もありお客様での仕事量の差が大きく出ていました。大型物件物もあり、全体的には変わりがないもののそういったことが2月にはありました。経済的にも年度末の効果はなく、消費の低迷は色濃く出ているのがわかります。半導体の動きが非常に目立ちますが、製造業界では仕事量が少なく非常にきびしい現状です。工作機械メーカーに関して、F社では先月と変わらずロボットが好調のようです。MCでは数台の製造途中との事。M社は先月と変わらないそうです。半導体関係では、T社が先月同様に好調で注文仕事量が限界を超えて依頼がきているそうです。郡内における大手半導体関係のA社は仕事量が増えており見積の量が半端ないそうです。仕事量も増えているとの事。自動車関係のトラック系に関して、仕事量は普通だそうですが。乗用車関係は仕事ができている従来通りの量です。食糧品関係も以前と同様、好調をキープしています。ただ、全体を見てトータル的に厳しい状況で動きがあっても続くことがなく単体で終わるケースが多いです。新年度の期待を込めて今後の動向を見て参りたいと思います。

★上野原エリア 山田★ 3月の動向ですが、2月後半辺りから半導体が非常に忙しく稼働しております。アルミ・ステンレス・鉄関係すべての部門が忙しい状況で、年内は稼働が続くとのお話が多いです。トラック関係はH社が試作もあり比較的好調な動きを見せているようです。医療関係は前月同様、調整されている所が多いように感じておりますが、3月下旬辺りから戻りだしているお客様も有りました。自動車関係はばいで推移しているようです。東京・埼玉・神奈川方面のお客様も、全体的に半導体が非常に忙しく納期割れや、夜勤稼働されている状況も有るようです。山梨県・近県3県共に半導体が引っ張る形で忙しく稼働が続いております。その他の業種は目立った忙しさは無いものの、比較的安定してきているようです。また、特化した加工を行っているお客様では、納期割れや、加工順番待ちなど忙しいお客様も有るようです。4月の動向をしっかりと見ていきたいと思っております。

安来今昔 『和鋼博物館総合案内から』 Vol.8

(株)峰岸商会 代表取締役 峰岸 一郎

出雲の諸港

16世紀の中国の章?の著書「明史」には、中海沿岸の安来港をはじめとする諸侯列記され、地の利を活かしたすぐれたその機能は、海外にまでも知られていたという。ところで、出雲(島根県東部)での主要な港としては、島根半島の西端、出雲大社の北に位置する鷺浦、宇竜やその東の加賀、さらに島根半島の東端の美保関などがあり、美保関は北前船の寄港地として知られる。美保関と安来港を結ぶ中海航路は、その距離約20キロ。陸路を行くよりはるかに短く、他藩領を通らずにすむ効率よい輸送航路であった。美保湾を望む美保神社には、輸送の無事を祈念して、奥出雲のたたら経営者が奉納した絵馬などが残されている。

郵便送り状控

港町安来には、和鉄や米を商う問屋が多数、建ち並んでいた。この文章は慶応3(1867)年、安来で問屋を営む中嶋屋平助が安来市伯太町母里(安来の南に隣接する旧城下町)のたたら経営者山本屋孫左衛門から鉄荷を受け取り、米とともに越前(福井県北部)三国の問屋戸口屋・沢屋宛てに船積みした折の通状の控えである。一通の文書から、海路を介した遠隔地との活発な取引の様子がうかがえる。問屋の中には、鉄の積み出しなどで、財を蓄え、両替商などを営む者もあった。



安来からの鉄運搬航路図



天秤秤
(両替商などで使用された)



「玉鋼縁起」より、安来節山影の代表的な民謡安来節にも、鉄に関連した内容が随所に唄い込まれている。軽快な唄声は港町のにぎわいに花をそえた

3.11 石巻日日新聞

東日本大震災で避難所に貼り出された
「6枚の壁新聞」

13日(日) 各地より救難隊到着
被災状況が徐々に明らかになる
東北関東大震災
石巻日日新聞 号外

3月12日(土) 日本最大級の地震大報
M8.8最大震度? 東北地方太平洋沖地震
正確な情報で行動を
石巻日日新聞 号外

石巻NEWS6e (詳)の駅
〒986-0822 宮城県石巻市中央2丁目8-2 ホシノボックスピア 詳の駅内 TEL.(0225)98-7323
震災直後に発行した石巻日日新聞号外の手書き壁新聞と被災直後の石巻市、東松島市、女川町の写真も公開しながら、復興に向かう石巻地域の姿を国内外に発信する活動を行っています。

3月16日(水) 支え合って乗り越えて
石巻日日新聞 号外

3月14日(月) 全国から物資供給
石巻日日新聞 号外

3月17日(木) 街に灯りが広がる
電気復旧一歩前進
石巻日日新聞 号外

3月15日(火) ホラソノメソ
石巻日日新聞 号外